

改善推進本部

1. スタッフ構成(2025 年 3 月時点)

- 名和 由一郎;改善推進本部長
- 中西 徳彦(院長)
- 青野 洋子(看護部長)
- 松本 英樹(事務局長)
- 【QM(Quality Management:クオリティマネジメント)室】
- 大谷 広美;クオリティマネジメント室長
- 野口 伸一;クオリティマネジメント室長補佐
- 本多 伸光;クオリティマネジメント室長補佐
- 阿部 カナエ;クオリティマネジメント室長補佐
- <医局>
- 玉木 みずね、椿 雅光、古川 克郎、井上 考司、古手川 洋志
- <看護部>
- 竹之内 陽子、河野 美晴、樋野 晃子、松尾 有記、岩本 悟志
- <薬剤部>
- 倉田 知久
- <事務局>
- 鶴本 創、山内 俊也、船井 辰朗
- <愛媛ホスピタルパートナーズ>
- 和田 啓一
- 【KP(Kaizen Promotion:改善推進)室】
- 古川 克郎;改善推進室長
- 大谷 広美;改善推進室長補佐
- 中瀬 浩一;改善推進室長補佐
- 阿部 カナエ;改善推進室長補佐
- <薬剤部>
- 倉田 知久
- <事務局>
- 後藤 陸
- 【TQM サークル活動支援チーム】
- <看護部>
- 太田 あゆみ、渡部 早人、秀野 桜、石崎 志保、富田 裕美、二宮 まどか
- <薬剤部>
- 村井 望
- <検査部>
- 井上 信行、井上 望世
- <放射線部>
- 小菊 奈都子
- <リハビリテーション部>
- 三瀬 和人
- <臨床工学部>
- 天野 雄司
- <支援者>
- 二宮 郁、村上 太一、仙波 未樹、中路 光紀、伊藤 智徳

2. 認定資格取得(2025 年 3 月時点)

資格名	資格取得者
日本科学技術連盟 QC サークル指導士	渡部早人、天野雄司、伊藤智徳、秀野桜、中瀬浩一、石崎志保、井上望世、近藤諒太
日本科学技術連盟 QC サークル上級指導士	太田あゆみ、井上信行、仙波未樹、三瀬和人

3. 運営方針

改善推進本部は、新病院整備に併せて、当院の理念である「県民の安心の拠り所となる病院であること」を実現するために、医療の質向上を目的として 2012 年 1 月に設立されました。院長、事務局長、看護部長を含めた TQM 委員会(2024 年より、「医療の質向上委員会」と名称変更)で改善活動の戦略を定め、改善推進室(以下「KP 室」とクオリティマネジメント室(以下「QM 室」)が院内各部門で取り組む改善活動を推進し、支援します。

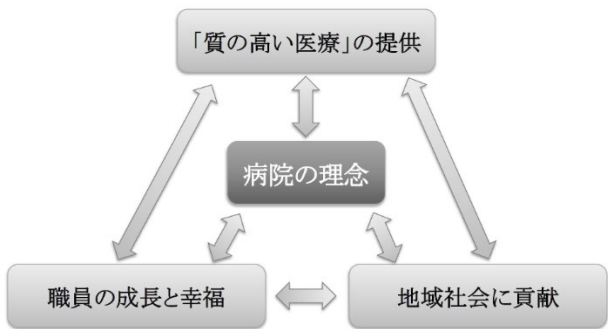
(1) 改善活動について

私たちは改善活動を「**病院全体で、継続的に医療の質向上を図る取り組み**」と定義しました。これを「**県民との約束**」と位置付け、病院を挙げて最優先で取り組みます。

単なる業務改善に止まらず、診療をはじめとする病院内のすべての「ひと・もの・しくみ」を改善の対象とし、より良い質を目指し続けます。そのためには、職員 1 人ひとりが改善活動に取り組むこと、すなわち常に「改善」の意識を持ち、自ら考え行動できることが重要です。

職員に対する教育・研修や意識改革をしっかりと行って職員が成長することにより、医療の質の向上も図れると考えています。そして「質の高い医療」が提供できることにより、地域社会に貢献でき、そのことが職員の幸福(自己実現)とさらなる成長をもたらします。この 3 つが、お互いに影響しあって、良いサイクルが回ることにより理念の実現に近づいていくと考えています。

■ 改善活動により実現できるもの



この活動を進めるにあたって TQM(Total Quality Management: 総合的質管理)という考え方を取り入れました。TQM は、古くから産業界で取り組まれている QC(品質管理活動)から発展した「質向上を目指した組織の管理手法」のことです。TQM 的思考やさまざまな改善手法を活用することにより、質の改善に全員で組織的・実証的・継続的に取り組むことが重要であり、トップダウンによるマネジメント(上位方針を職場の隅々まで展開・浸透させるための方針管理等)と自主的なボトムアップの活動(業務上の問題解決・課題達成に取り組む日常の改善活動等)の両輪が揃って有効に機能します。

■ 改善活動の理念と基本方針

理 念：「病院が自ら進化し続ける組織となること」
基本方針：“All for the Patients!!”

この基本方針には次の2つの意味が含まれています。

- ① 「すべては患者さんのために」
患者さん第一、常に患者さん中心の医療を心がけます。
- ② 「みんなで患者さんのために」
職員全員が協力して、チーム医療を積極的に推進します。

(2) 改善推進本部の体制と活動方針

改善活動を推進するため、トップダウン活動を牽引するQM室とボトムアップ活動を活性化させるKP室の2つを設けています。

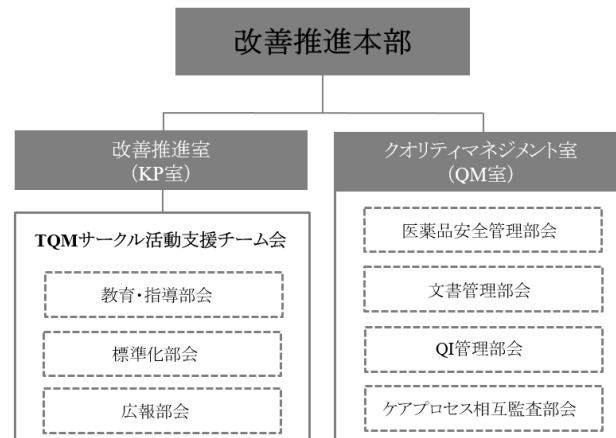
QM室の組織は2018年度から、診療録監査、医薬品安全管理、文書管理、QI管理の4部会に改編しました。また、2019年からはチーム医療を円滑に進めるための課題を検討するチーム医療推進プロジェクトチームを、2020年度から職員やりがい度向上プロジェクトチームを設けています。以後改編を重ね、現在は図のごとく4部門で活動し、病院機能評価に十二分に対応できる体制づくりを継続的に進めています。

KP室の組織は、教育・指導、標準化、広報の3部会によって構成されています。

<活動方針>

- ・ 「改善」の意識を醸成する
- ・ 改善活動の全体像と方向を示す
- ・ さまざまな改善の取り組みを支援する
- ・ 「医療の質」管理体制(QMS: Quality Management System)を構築する

■ 改善推進本部の組織図



■ 改善活動の推移

第1ステージ 「改善活動の礎造り」				第2ステージ 「改善活動の深化」			第3ステージ 「改善活動の展開」			第4ステージ 「改善活動の価値化」			第5ステージ 「改善活動の変革」	
2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
開連行事		★新病院移転(5月)			★病院機能評価受審(1月)		★病院機能評価審判中の確認(4月)		★JICA視察団来院(9月)		★JICA視察団来訪(9月)		★JICA視察団来訪(9月)	
					★県中ビジョン2025第一次中期計画策定(4月)		★「医療の改善活動」全国大会in松山開催(11月)		★病院機能評価更新(12月)		★病院機能評価審判中の確認(4月)		★「医療の改善活動」全国大会in広島(11月)	
K P 室	第1回 サークル活動	第2回 サークル活動	第3回 サークル活動	第4回 サークル活動	第5回 サークル活動	第6回 サークル活動	第7回 サークル活動	第8回 サークル活動	第9回 サークル活動	第10回 サークル活動	第11回 サークル活動	第12回 サークル活動	第13回 サークル活動	
		コア ス タ ッ プ 会	推 進 委 員 会	専門部会 ・教育指導部会 ・標準化部会 ・広報部会	QC指導士育成			T Q M 推 進 デ ィ ム 会			T Q M サ ー ク ル 活 動			医療の質 向上委員会
Q M 室	SSラウンド		SS機能評価ラウンド	カイゼンラウンド			T Q M 委 員 会			T Q M サ ー ク ル 活 動			医療の質 向上委員会	
		機能評価受審準備		専門部会 ・診療録監査部会 ・薬剤管理部会 ・マニュアル管理部会 ・QI管理部会 ・患者サポート部会			専門部会 ・診療録監査部会 ・医薬品安全管理部会 ・文書管理部会 ・QI管理部会 ・病院長機能評価PJT ・チーム医療推進PJT			専門部会 ・医薬品安全管理部会 ・文書管理部会 ・QI管理部会 ・ケアプロセス相互監査部会			院内ケアプロセス監査	
		ケアプロセス模擬監査		ケアプロセス監査			質改善公開カンファレンス			院内ケアプロセス監査				

4. 実績

改善活動も13年目となった2024年度は、「第5ステージ:改善活動の変革:1年目」を目指しました。今回13年目として、7サークル(医師主導1サークルを含む)がエントリーし、医療安全、業務改善、診療の質向上、患者サービス、働き方改革、職員満足度向上等をテーマに活動を完遂することができました。また、今年度もOrchis配信を用いて県立4病院および本庁県立病院課の全職員へ配信を行い、多くの職員が動画を視聴し、「きらり賞」への投票を行っていただきました。

今年度も名和由一郎本部長が、第60回愛媛県立病院学会において、2回目となるTQMセッションで座長を務めました。中央病院からは、リハビリテーション部、薬剤部の発表、さらに南宇和病院からの発表もあり、TQM活動の広がりを感じることができました。今後の参加も多いに期待するところです。第62回全国自治体病院学会in新潟では、リハビリテーション部、放射線部がポスター発表を行いました。第25回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in岐阜では、4サークル(リハビリテーション部、手術室、薬剤部、臨

床研修センター)が発表を行い、高い評価を得ました。中でも、医師による発表や、初の未然防止型による発表は、多くの関心を集めました。2024年度は7月にJICA視察団を受け入れ、当院のTQM活動を伝えることで発展途上国の医療の発展に寄与できました。また、その際、愛媛新聞社やNHKから取材が入り、県立中央病院の取組みについてのアピールにもつながりました。

【QM室】

2015年4月の設置以来、質改善活動を継続できるような仕組みづくりを目標として活動しています。2017年9月からは、内部監査として継続してきたケアプロセス監査を相互監査にすることにより習慣化させ、問題点の改善を推進するためQM室コア会議を隔週で開催しています。

(1) QM室コア会議

2024年度は22回開催しました。2019年の病院機能評価機構の評価結果を受けて、当院の改善すべき課題を検討しました。

(2) ケアプロセス監査

「情報共有」と「チーム医療」の実態を確認し、問題点を多職種と共有することに重点を置いて進めてきましたが、2020年度以降は

相互監査により開催し、院内での習慣化を目指しました。以後病院機能評価受審に向けて対策強化を図っています。

■ ケアプロセス監査

実施日	対象病棟	対象診療科
5月27日	5階小児病棟	小児科
7月22日	救命ICU	救急科
9月30日	9階西病棟	脳神経内科
11月25日	9階東病棟	眼科
1月27日	6階西病棟	腎臓内科
2月25日	11階東病棟	形成外科

(3) 病院機能評価更新認定

2019年12月に受審した病院機能評価更新認定書が2020年5月に交付され、受審結果が送付されました。B評価と判定された14項目を中心に、コメントを基に改善計画を立て、改善に努めました。2022年4月中に期中の確認を提出しました。2024年度は2025年の病院機能評価受審に向けての準備を進め、継続的な医療の質の向上を図っています。

(4) 専門部会の活動概要と問題点

< QI 管理部会 >

- ・ 身体拘束縮小化率
- ・ 悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合
- ・ B型肝炎再活性化スクリーニング率
- ・ 他院の画像読影加算の取得率向上 等

< 文書管理部会 >

- ・ 文書管理要綱の改定:改めて文書管理手続きの効率化を図り、実務的な視点で改定を行いました。
- ・ 新電子マニュアルの整備:院内文書を一元管理するため、グループウェア(i-Field)で総合的に管理できる新システムを構築し、改定したマニュアルの更新作業、承認作業、改訂履歴管理作業を行っています。

< 医薬品安全管理部会 >

- ・ 麻薬、向精神薬、定数配置薬の安全管理について引き続き指導継続
- ・ 医薬品安全管理のための病棟薬剤業務の推進

【KP 室】

ボトムアップの活動を推進するために、TQM サークル活動、ワンポイント改善等を行っています。特に TQM サークル活動を円滑に進めるために、教育・指導、標準化、広報の3つの専門部会と、多職種からなる TQM サークル活動支援チーム会を設けて、活動の活性化を図っています。

(1) TQM サークル活動

『職場の問題解決に取り組み、質改善の考え方や手法を学ぶ』ことを目的としています。「明るく、楽しく、有意義に」活動を進める中で、「人財」育成やコミュニケーション能力、リーダーシップの向上等を育むことも期待でき、ボトムアップ活動の最も大きな柱であると考えています。

① KP 室の活動実績

2024年度は、

- TQM サークル活動:効率的な院内サークル活動支援、他の県立3病院への改善活動に対する啓発・連携の継続(ワークショップ、キックオフ、発表・表彰動画の共有、アンケート等)、「医療の改善活動」全国大会での優秀賞獲得
- ワンポイント改善:各部署からの、自発的な発表促進
- その他:JICAからの要請に基づく、海外医療関係者視察への協力

以上3つの目標を立てて取り組みました。上記目標aのもと、延べ44名7サークルが活動しました。

今回は、キックオフ大会(6月17日)、TQM e-learning(4回)、発表大会(12月9日～27日)、いずれも動画【Orchis】にて開催し、県立4病院および本庁県立病院課の全職員を対象に配信しました。

< 改善推進本部作成動画、活動報告書 >

TQM サークル活動の進め方については、教育・指導部会、標準化部会が作成した動画を4回に分けて配信し、TQM e-learningにて306名(全職員の25%)が小テスト(全4回)に回答くださり、修了証を発行しました。今年度は発表大会に加え、サークル紹介や講評も動画【Orchis】配信にて実施したところ、動画総視聴率は全職員の80%となりました。年度末に7サークルの活動報告をまとめた「TQM サークル活動報告書」を刊行しました。また、昨年度より、活動報告書冊子のPDF版の回覧配信も実施しています。本年度も医局や多職種協同チームなどからのエントリーもあり、病院を挙げてカイゼン活動に取り組むことができました。新たに無駄削減アイデア募集を行いました。9件の応募があり、各部署と連携して無駄削減に向けて取り組んでいます。

■ 2024年度第13回TQMサークル一覧

サークル名	部署	活動テーマ	審査結果
Engeflix	リハビリテーション部・9階西病棟	摂食嚥下障害患者の評価パワー不足(評価が適切にできない)の低減	最優秀賞・☆きり賞
Stock Labo	検査部	在庫管理における在庫切れの未然防止	優秀賞
チーム・後工程はお客様!	がん治療センター	化学療法レジメン前日オーダー忘れ件数の低減	院長賞
チーム・マンモ	放射線部	マンモグラフィ受診者における羞恥心の軽減	事務局長賞
他科不安症	12階西病棟	他科患者看護における不安軽減	看護部長賞
—MASHLE— 筋肉と魔法で未然防止	手術室	洗浄室業務におけるカウント不一致(鋭利単回使用物品廃棄忘れ)の未然防止	本部長賞
立ち上がれ研修医	臨床研修センター	研修医のインシデントレポートにおける毎月提出割合の増加	室長賞

人材育成では、今年度はQCサークル指導士試験に1名が合格し、現在、院内4名の上級指導士を含めた全12名のQCサークル指導士が改善活動を支援する体制となっています。改善活動の大きな推進力となってくれることを期待しています。

② 各専門部会の活動実績

< 教育・指導部会 >

- ・ TQM e-learningの視聴促進と新たな教育動画の作成
- ・ サークル支援強化の継続
- ・ 未然防止型の動画の作成

< 標準化部会 >

- ・ 前年度サークルへのヒアリングおよび支援
- ・ 今年度サークルへの講義・指導
- ・ 広報部会と協働し標準化紹介新聞の作成(3～4号)

< 広報部会 >

- ・ TQMサークル活動紹介動画の作成、配信
- ・ 改善活動状況の発信
- ・ 改善通信新聞の定期発刊(134～137号)
- ・ 標準化部会と協働し標準化紹介新聞の発刊(3～4号)

(2) ワンポイント改善

『いつでも、誰でも、どこでもできる』を合言葉とし、病院全体に改善の風土を作り上げるため、院内各部署で実施してきた身近な

改善事例を募集し、表彰しています。ワンポイント改善は、TQMサークル活動に比べハードルが低く、容易に取り組むことができるメリットが大きく、部署のアピールにもつながるため、第16回14事例、第17回16事例と多くの応募がありました。

■ 第16回ワンポイント改善事例一覧

部署	事例	受賞
リハビリテーション部・10階西病棟	バズレシビ!簡単&便利な靴置きマークの作り方	最優秀賞
現任教育委員会	新人研修体制の改善～研修と実践をつなぐ～	院長賞
EHP 医事・放射線治療棟	複雑怪奇な診療報酬要件を1枚にまとめました。	事務局長賞
観察室	50cm幅のスペースにあなたは何時間耐えられますか?	看護部長賞
外来特殊部門1 外来化学療法室	化学療法開始前からのスキンケア	本部長賞
リハビリテーション部・9階東病棟・12階西病棟	酸素ボンベカート Project～歩行練習を評価につなげよう～	優秀賞
リハビリテーション部・11階西病棟	歩行器を安全に使用するためのアイデア	優秀賞
6階東病棟	継続は安全なり	優秀賞
放射線部	MRI 検査前室ロッカールームに転倒防止の手すりつけてみた	優秀賞
認知症ケアチーム	認知症の患者さんの「動きたい!」「支えたい!」	優秀賞
6階西病棟	JUST♡IN♡TIME	
観察室	緊急対策…整理整頓・1R みんなの観察室、みんなで取り組もう	
入院サポートセンター	手術前 多職種・他部門・患者の目でチェック!!	
外来特殊部門1 外来化学療法室	第1弾 災害時に備える!	

■ 第17回ワンポイント改善事例一覧

部署	事例	受賞
リハビリテーション部・6階西病棟	糖尿病教育入院患者さんの所在を効率よく把握するための勝利の6西メソッド	最優秀賞
10階東病棟	10階東部署でのタスクシフトシェアの取り組み	院長賞
認知症ケアチーム	認知症の患者さんの「動きたい!」「支えたい!」Part2	事務局長賞
5階小児病棟	保育士訪問はじめました	看護部長賞
12階西病棟	患者の安全と尊厳を守り隊～身体拘束ゼロを目指した取り組み～	本部長賞
5階 NICU・GCU	抑制バイバイチャレンジスタート	優秀賞
5階 NICU・GCU	大切な母乳を大切な赤ちゃんに届けよう	優秀賞
EHP 入院受付(サポートセンター内)	呼び出し番号を巨大化アクリル板に貼り付け	優秀賞
救命 ICU	家族はどっちの ICU にいるの?	優秀賞
入院サポートセンター	入院前から誤嚥性肺炎予防はじめました!!	優秀賞
9階西病棟	NIHSS 評価で患者も看護師も安心	
救命 HCU	PHS 戻ってらっしゃい	
救命 HCU	黒ファイルの整理 書類は所定の場所へ	
外来特殊部門1 外来化学療法室	化学療法中患者に対する栄養サポートの取り組み	
外来特殊部門1 外来化学療法室	第2弾 災害時に備える!	
外来診療部門1	椅子の配置を変えて空間活用☆彡	

(3) 医療の質向上(TQM)委員会

2020年度より、従来の TQM サークル活動推進委員会から発展し、サークル活動だけでなく改善推進本部が行っている組織全体のさまざまな改善活動について検討しました。

- ・ 第1回医療の質向上委員会(6月3日 :参加16名)
- ・ 第2回医療の質向上委員会(10月7日 :参加14名)
- ・ 第3回医療の質向上委員会(2月3日 :参加18名)

(2) ケアプロセス相互監査をより院内に根付かせ、全診療科・病棟の医療の質向上を目指します。

(3) チーム医療の質を向上させます。

新型コロナ時代のチーム医療を推進するために、チーム医療推進 PJT を中心にメディカルスタッフ(検査部、放射線部、栄養部、リハビリテーション部等)を含めたチーム医療の改善と標準化を図ります。

(4) 適応外使用薬使用時のルール作りなど、病院全体にかかわるルールや手順づくりに貢献します。

(5) 上記等の推進により、2025年度の病院機能評価更新受賞に向けた準備を進めていきます。

5. 2025年度目標

【QM 室】

(1) 相互監査を目指した内部監査システムを習慣化します。

【KP 室】

(1) TQM サークル活動

- ・ 効率的な院内サークル活動支援の継続
 - ・ 他の県立3病院への改善活動に対する啓発・連携の継続
(ワークショップ、キックオフ、発表・表彰動画の共有、アンケート等)
 - ・ 「医療の改善活動」全国大会での優秀賞獲得
- (2) ワンポイント改善
- ・ 各部署からの、自発的な発表促進
- (3) 海外医療関係者視察に対する協力と当院改善活動の周知

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 天野雄司、一色翼、河野洋輝、稲荷慎太郎、益田夏季、河野大輝、桑尾芽依. 臨床工学部における早出開始時刻の削減. 第 8 回医療現場における KAIZEN 研修会 in 広島. 広島 (2024.10.12)
2. 後藤陸、井上望世、井上信行、奥田安範、石丸美架、二宮まどか、渡部早人、古川克郎、中瀬浩一、阿部カナエ、倉田知久、高瀬美子、藤田明、越智祐二郎、名和由一郎、中西徳彦. 愛媛県立中央病院における節電対策の効果について(ポスター). 第 8 回医療現場における KAIZEN 研修会 in 広島. 広島 (2024.10.12)
3. 小菊奈都子、小田真由美、植田菜緒、池田富美子、中嶋利恵、渡辺真由美(愛媛県立新居浜病院)、三宅宣雅、畑地登志子、松岡欣也. マンモグラフィ検査における診療放射線技師の接遇、読影、技術と環境の改善への取り組み. 第 62 回全国自治体病院学会 in 新潟. 新潟 (2024.10.31-11.1)
4. 三瀬和人、清水麻美、青木卓也、黒川絢帆、森川明. 自治体病院のリハビリテーション部門における改善活動の現状と抱える課題～これまでの 12 年間の活動を振り返って～. 第 62 回全国自治体病院学会 in 新潟. 新潟 (2024.10.31-11.1)
5. 二宮まどか、重松有希子、松永佳余子、中岡由貴恵、大館裕子、橋本望、渡部早人. 手術室看護師の観察室業務における不安低減. 第 25 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 岐阜. 岐阜 (2024.11.15-16)
6. 黒川絢帆、武智悠二、三瀬和人、佐竹敬太、青木卓也、清水麻美、森川明、椿崇仁. リハビリスタッフの地震初動対応率を向上する. 第 25 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 岐阜. 岐阜 (2024.11.15-16)
7. 村井望、越智啓介、新居田能章、上田真由、岸亮太、宇和川朝美、若藤孝直、堀内悠衣、伊藤智徳、倉田知久. 未然防止型を使った調剤時の薬剤取り揃えミスの改善. 第 25 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 岐阜. 岐阜 (2024.11.15-16)
8. 土居優希、野村崇良、岡部珠里、村上徳、川上夏葵、齋藤舞、名和由一郎、杉山圭三、中瀬浩一. 医師の働き方改革の時代における研修医当直業務の効率化. 第 25 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 岐阜. 岐阜 (2024.11.15-16)
9. 上田真由、村井望、越智啓介、新居田能章、宇和川朝美、岸亮太、若藤孝直、堀内悠衣、伊藤智徳、鳥谷政和、倉田知久. 未然防止型を使った調剤時の薬剤取り揃えミスの改善. 第 60 回愛媛県立病院学会. 松山 (2024.11.16)
10. 武智悠二、黒川絢帆、青木卓也、清水麻美、佐竹敬太、三瀬和人、森川明. TQM サークル活動を活用したリハビリテーション室における地震初動対応率の向上. 第 60 回愛媛県立病院学会. 松山 (2024.11.16)